

豊能医療圏 がん医療ネットワーク協議会 活動報告

[平成28年3月16日 大阪府がん診療連携協議会 資料]

市立豊中病院

大阪大学医学部附属病院

組 織 図

豊能医療圏がん医療ネットワーク協議会

がん登録部会

緩和ケア部会

がん検診情報部会

がん地域連携部会

がん研究部会



第2回 豊能医療圏
がん医療ネットワーク協議会

平成28年2月25日開催

各部会の活動について部会リーダー
より報告いただきました。
(協議会委員 92名出席)

がん登録部会

【部会活動のメインテーマ】 網羅的で精度の高いがん登録を実施する。

〔27年度 活動報告〕

1. 子宮頸がんのがん登録データを用いた現状分析

- 8施設で子宮頸がんの院内がん登録データを収集し、分析を行った。
- ◆ 分析結果・・・全国、大阪府と豊能医療圏での比較では、豊能医療圏が「がん検診」による発見が他より低い、上皮内がんを含む早期発見割合に大きな差はみられなかった。分析のきっかけとなった「統計でみる大阪府のがん」では、豊能医療圏の子宮頸がんの早期発見割合は最も成績が悪かったが、データが若干古いことから、豊能医療圏での早期発見については他医療圏と同等レベルまで向上している可能性が高い。

2. 情報交換を目的とした部会の開催

- 子宮頸がんの現状分析の結果報告
- 平成27年9月にオープンした大阪大学医学部附属病院
オンコロジーセンターの見学
- がん登録実務に関する情報交換

がん登録部会

〔28年度 活動目標〕

1.肺がんの院内登録データを用いた現状分析

- 院内がん登録データから住所・進行度や治療内容等のベンチマークを作成し、自施設の登録状況の把握と豊能医療圏での肺がんの現状について比較・分析を行う。

2. 院内がん登録の精度管理

- 拠点病院間で情報共有を行い、精度の高い院内がん登録データを構築していく。

緩和ケア部会

【部会活動のメインテーマ】 緩和ケアの普及を図る。

〔27年度 活動報告1〕

1. 緩和ケア研修会の受講促進

- 圏域内の各拠点病院の受講対象者数・定員・受講率の目標達成に向けた取組みについて情報共有を行った。
- ◆ 主な受講対象となる2年目から5年目の医師数は292人、それに対して定員は170人であり、受講率達成に向けた取組みが引き続き必要である。

2. 緩和ケアの普及促進

- 「緩和ケア部会」に参加する病院主催
7回シリーズの医療従事者向け
「緩和医療研修」を開催した。(府補助事業を活用)
- 在宅支援マップの統一的な項目案を議論した。

3. 患者及び家族が心の悩みや体験談を語り合う場の提供

- がん拠点病院主催のがんサロンの開催情報を
集約したポスターの作成を行った。(府補助事業を活用)



緩和ケア部会

〔28年度 活動目標〕

1. 緩和ケア研修会の受講促進

- 圏域内の各拠点病院の受講対象者数・定員について情報共有を行う。

2. 緩和ケアの普及促進

- 拠点病院主催の緩和ケアに関する研修会の開催予定一覧データの作成により、周知を行う。

3. 患者及び家族が心の悩みや体験談を語り合う場の提供

- がん拠点病院主催のがんサロンの開催情報を集約した一覧データの作成により、周知を行う。

4. 地域の緩和ケア従事者との連携強化

- 圏域内のホスピス・在宅診療所の部会への参加を検討する。

がん検診情報部会

【部会活動のメインテーマ】

がんに関する情報の普及、がん検診の受診率向上に取り組む。

〔27年度 活動報告1〕

1. 小中学校におけるがん予防につながる学習活動への支援

- 各市町教育委員会にがん教育に対する講師派遣についてアンケート調査を実施した。
- 出前講座の実績
 - 豊中市立第十六中学校 3年生対象
講師 市立豊中病院 今村外科部長
 - 豊中市立小・中学校 養護教諭対象
講師 市立豊中病院 今村外科部長
 - 吹田市内公私立中学校
保健体育担当教職員・養護教諭対象
講師 市立吹田市民病院 宮崎内科部長
済生会吹田病院 松木室長
済生会千里病院 小藪ソーシャルワーカー
吹田ホスピス市民塾 小澤代表

がん検診情報部会

〔27年度 活動報告2〕

2. がん予防のための啓発活動

- 豊能がんネット協議会主催の
「がん市民公開講座」の企画の検討を行った。

3. 協議会活動ホームページの開設 (府補助事業を活用)

豊能医療圏がん医療ネットワーク協議会 [トップページ](#)

ネットワーク協議会とは

- ・協議会ごあいさつ
- ・会則/組織図/部会のご案内
- ・活動報告
 - ・平成27年度活動一覧
 - ・平成28年度活動一覧
 - ・平成29年度活動一覧

部会・セミナーのご案内

- ・がん医療市民公開講座など一般向け啓発事業等

豊能医療圏がん検診情報

- ・がん検診のご案内
- ・緩和ケアがんサロンのご案内
- ・セカンドオピニオンのご案内
- ・がんに関する相談窓口のご案内(がん相談支援センター)

がん診療連携体制

- ・新たながん診療連携体制
- ・がん診療連携病院の役割

豊能医療圏の医療機関ひとしきり

- ・がん診療連携病院
- ・地域の病院・医院・診療所
- ・地域包括支援センター
- ・訪問看護ステーション
- ・介護福祉事業

リンク集

- ・大塚がん情報コーナー
- ・厚生労働省(がん対策情報)
- ・大塚えんナビ
- ・がん啓発会

お問い合わせ

【リンク】案内図について | 個人情報について

豊能医療圏がん医療ネットワーク協議会
【事務局】 市立豊中病院 がん相談支援センター内
〒560-8555 大阪府豊中市豊原町4丁目14番1号
TEL 06-6843-0101 FAX 06-6808-3602

がん検診情報部会

〔28年度 活動目標〕

1. がん教育の推進

- 各市町がん検診担当課から各市町教育委員会への働きかけを行い、児童生徒・教職員へのがん研修の場を増やしていく。

2. がん市民公開講座の開催

- 子宮頸がん等がん検診を啓発するため、協議会主催の「がん市民公開講座」の実施について検討する

3. がん予防のための普及啓発

- 豊能二次医療圏で早期がんの割合が低い、子宮頸がんの各市町の取り組みについて、情報共有を図る

4. がん手術件数の定義の統一化

- がん手術件数のカウントについて厚生労働省に照会を行い、次回の現況報告や大阪府がん情報提供コーナーに掲載のデータを統一的な定義で提出する。

がん地域連携部会

〔27年度 活動報告2〕

2. クリティカルパスチーム

- 患者のピックアップ方法やパス普及に関して運用整理シートを作成し、問題点について整理した。
- ◆ 対象となる患者の把握が十分でないこと、疾患やパスの種類によって運用状況に差があることなどが問題点として挙げられ、ピックアップ方法や患者・家族や連携医療機関への説明方法などについて情報交換を行った。

3. リハビリテーションチーム

- リハビリの介入時期やリスク管理等についてアンケート調査を行い、課題の共有と今後の運用につなげる議論を行った。
- ◆ 調査結果 がん患者リハビリテーション料の算定を行っているのは、圏域内の拠点病院のうち半数である。マンパワーの不足により診察枠が少ないことが、リハビリテーション実施までに時間を要する理由として挙げられた。運動負荷レベルなどがん患者のリスク管理については、主治医からの指示や逆に療法士から主治医・看護師に確認などにより行っている。
今後、がんリハビリテーションの、周知を高めるために、講演会の企画などを行い、広く、積極的啓発活動を行うことも必要であると思われる。

がん地域連携部会

〔28年度 活動目標〕

1. セカンドオピニオンチーム

- ▶ リーフレット「セカンドオピニオンについて～各病院の申込み等状況一覧」の活用について評価を行う。

2. クリティカルパスチーム

- ▶ 今年度作成した運用整理シートをもとに、パスの効果的な運用等を議論する。

3. リハビリテーションチーム

- ▶ がん患者リハビリテーションについての事例報告により、リハビリの有効性の研究を行うとともに、研修会などリハビリの重要性の認識を高める啓蒙活動の企画を検討する。

がん研究部会

(1) 小児がん対策

● 小児がん診療に関わる医療機関ネットワークの構築

阪大病院は、大阪府内のがん診療連携拠点病院等と連携し小児がん患者の診療に取り組んでいる。また、小児がん拠点病院（大阪市立総合医療センターと大阪府立母子保健総合医療センター）と連携し医師、看護師等多職種
の教育を行っている。更に、オンコロジーセンター内にAYA世代相談室を設置した。

(2) 骨髄移植および臍帯血移植の推進

● 骨髄移植および臍帯血移植の現状

造血幹細胞移植の件数は年間平均27件（直近3年）である。移植の幹細胞ソースとしては血縁、骨髄バンク、臍帯血のすべてに対応している。特に骨髄バンクからの移植が多く6割を占めている。

(3) がん研究の推進

● 多施設臨床研究の推進（特定非営利活動法人SCCRE（エスキュール））

がん臨床研究を実施する7つの研究会（消化器がん、乳がん、肺がん、泌尿器系がん、骨髄腫等）を支援している。

● 臨床研究中核病院

昨年8月に臨床研究中核病院の認定を受けた。質の高い臨床研究支援のために更に未来医療開発部を整備する。

(4) 高度先進医療の推進

● 以下の先進医療を現在実施中である

1. 腹腔鏡下広汎子宮全摘術（先進医療A）
2. パクリタキセル静脈内投与及びカルボプラチン腹腔内投与の併用療法（先進医療B）
3. 術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法（先進医療B）
4. 周術期カルペチリド静脈内投与による再発抑制療法（先進医療B）
5. 11C標識メチオニンを用いたポジトロン断層撮影による再発の診断（先進医療B）

(5) 人材育成

● がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン（大学院）

17コースで76名が在学中（薬物療法、放射線治療、緩和医療、外科治療、放射線物理、細胞診、がん看護等）